

神島

kami-shima



潮騒が聞こえるネイチャーアイランド

主な産業は漁業。伊良湖水道など潮流が速い漁場で育ったタコやタイ、伊勢エビ、アワビなどは市場でも高く評価されています。島の集落は、台風や季節風などを避けて北側に開け、海岸沿いのわずかな平地から山の斜面にかけて家屋が密集し、狭い路地や階段道が入り組んでいます。作家・三島由紀夫の小説『潮騒』の舞台としても知られ、小説に登場する神島灯台や監的哨跡などを巡ったり、アサギマダラやサンバの渡りなど、豊かな自然を楽しみに観光客が訪れています。

- 1 伊良湖水道の安全を見守る神島灯台
- 2 旧陸軍が建てた監的哨跡
- 3 積み上げられたタコ壺
- 4 八代神社から眺める集落



2

答志島

toushi-jima

海の幸、歴史ロマンに伝統文化と多彩な魅力

伊勢湾最大の答志島には、答志、和具、桃取と集落は3つで、それぞれに魚市場があります。島の周囲は潮流が速く、季節ごとに外洋と伊勢湾を行き来する魚が絶えない、海幸の宝庫。島の人口の約8割が漁業に従事し、海上安全や大漁祈願の祭り、寝屋子制度など古くからの慣習も色濃く受け継がれています。縄文・弥生時代の遺跡があり、九鬼嘉隆にまつわる史跡も残っています。島の路地裏散策や、海女小屋体験、無人島での浮島自然水族館などのエコツアーが人気です。



1

- 1 八幡神社の祭礼である神祭の引引神事
- 2 海女小屋からはにぎやかな声
- 3 戦国時代に活躍した九鬼嘉隆の首塚
- 4 干潮時に姿を現す浮島で磯観察



2



3



4

菅島

suga-shima

紅ツゲが紅葉する自然美あふれる島

標高237mの大山を中心に、島全体を周遊する近畿自然歩道には眺望スポットが目白押し。海女の祭典・しろんご祭りのしろんご浜や、レンガ造りの菅島灯台、360度のパノラマ眺望の監的哨跡が点在します。秋から冬にかけては北西風が吹き、漁港周辺ではアラメやワカメ、アジ、ハギなどの海藻や魚介を干す素朴な風景が見られます。潮風と太陽の恵みによってうま味を増す、漁村ならではの干物文化を見つめ直し、伊勢エビなどを干物にする取り組みも行われています。



1

- 1 現存する円形レンガ造りの灯台では日本最古
- 2 島を赤く染める紅ツゲ群生地
- 3 島に吹く強い風がおいしい干物の秘訣
- 4 7月に行われるしろんご祭



2



3



4

坂手島

sakate-jima



神宮ゆかりの皇女も愛でた風光明媚な島

かつては神宮の御厨で、鎌倉時代成立の『倭姫命世記』には「佐加太岐嶋」と記載されています。5月中旬から6月にかけて、市の天然記念物であるアヤメ池では、カキツバタが咲き誇り、島の風物詩として多くの人を魅了します。島の西側には鳥羽市水産研究所があり、一昔前は多くの漁師がカツオやブリ、タイの一本釣りを得意としていました。段々状に連なる漁村風景や細い路地は、ノスタルジックな雰囲気を醸し出し、夜には対岸の鳥羽市街の夜景が楽しめます。



1



4

- 1 倭姫命の言い伝えも残るアヤメ池
- 2 ワカメやクロノリを研究する鳥羽市水産研究所
- 3 本土に一番近い定期船乗り場
- 4 南側の斜面に家々が集まる



3



2